

平城宮跡資料館 平成28年度 秋期特別展

地下の 正倉院展

式部省木簡の世界 －役人の勤務評価と昇進－

2016年10月15日(土)～11月27日(日)

◎展示は三期に分けておこないます

I 10月15日(土)～10月31日(月)

II 11月1日(火)～11月13日(日)

III 11月15日(火)～11月27日(日)

入場無料 / 月曜休館 ※10月31日(月)は開館

時間 / 9時～16時30分 ※入館は16時まで

場所 / 平城宮跡資料館 企画展示室

〔主催〕独立行政法人 国立文化財機構 奈良文化財研究所

〔後援〕文化庁、国土交通省近畿地方整備局国営飛鳥歴史公園事務所、奈良県教育委員会、奈良市教育委員会、読売新聞社、近畿日本鉄道株式会社、奈良交通株式会社、株式会社南部銀行、木簡学会

地下の 正倉院展

平城宮跡資料館 平成28年度 秋期特別展

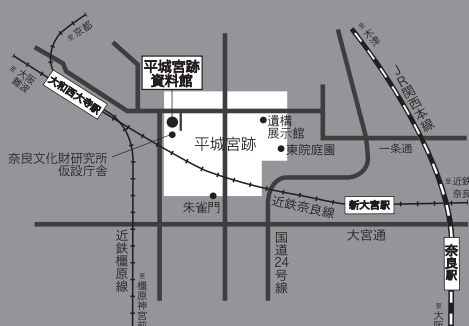
式部省木簡の世界 － 役人の勤務評価と昇進 －

奈良文化財研究所では、平成19年度より毎年1回、秋期特別展として「地下の正倉院展」を開催し、平城宮・京跡出土木簡の実物展示をおこなっています。今年度は、これまでにまとまった出陳をしたことのない、式部省木簡しきぶしょうをご覧ください。

式部省とは、役人の管理・養成を担当する役所です。1966年に実施された発掘調査では、平城宮跡で初めて、一度に一万点を超える木簡が出土しました。その多くは、式部省内でおこなわれた役人の勤務評価に使用された、側面に孔をもつ特異な型式の木簡とその削屑けずりくずです。内容・型式ともに強い個性をもつ木簡群からは、式部省の日常業務や役人の昇進の実態をうかがうことができます。

本年は、式部省木簡が発見されてから50年です。日本の木簡研究史上かけがえのない発見を、最新の研究成果に基づいてご紹介します。

会場への行きかた



近鉄大和寺駅北口から
東へ徒歩10分

ギャラリートーク

第Ⅰ期 10月21日〔金〕

第Ⅱ期 11月4日〔金〕

第Ⅲ期 11月18日〔金〕

※各回とも14時30分～